



開催趣旨

<https://gijapan.org/test/about.html>

グリーンインフラへの期待が社会のいたる所で高まっています。自然環境や多様な生き物がもたらす自然の資源や仕組みを活用することで、現代社会が抱える多くの課題の解決に貢献し、豊かで魅力ある持続可能な社会を築くことが、グリーンインフラを進めていく目的です。

グリーンインフラがもつ多様な機能を十分に引き出すためには、社会のさまざまな主体が横断的に連携し、グリーンインフラへの理解を深めつつ実践的な取り組みを進めていくことが必要です。グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン (GIJ) は、グリーンインフラにかかわる多くの関係者が集い、グリーンインフラの研究や取り組みの成果を共有し、グリーンインフラのさらなる発展をうながす機会として、GIJ全国大会を開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

GIJ2020実行委員会

グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン 主催者企画ミーティング グリーンインフラを社会実装するために 自治体の果たすべき役割とは

自治体計画への位置づけ、具体計画の立案・推進、多様な主体の巻き込み・調整など、グリーンインフラ (GI) を形成するうえで市町村が果たす役割は大きい。市町村による先進的な取り組み事例の紹介、国の取り組みについての話題提供をとおして、主体・分野を統合したGI推進母体の立ち上げ・運営の仕組みづくりについて検討する。

<市町村の先進的取り組み>

- ◆茨城県守谷市・松丸修久 市長：市と民間企業の連携によるGI (仮)
- ◆新潟県佐渡市・渡辺竜五 市長：トキをシンボルとした環境と農業の統合によるGI (仮)
- ◆熊本県南阿蘇村・吉良清一 村長：水源・流域としての地域循環共生圏とGI (仮)
- ◆沖縄県金武町・仲間一 町長：マングローブの保全再生と観光・農業との統合によるGI (仮)



<国の取り組み>

- ◆国土交通省：松家新治 (総合政策局環境政策課・課長)
- ◆農林水産省：三浦康和 (大臣官房政策課環境政策室・課長補佐)
- ◆環境省：蔵本洋介 (自然環境局自然環境計画課生物多様性戦略推進室・室長補佐)

司会：岩浅有記 (環境省沖縄奄美自然環境事務所・野生生物課長)

ファシリテーター：島谷幸宏 (九州大学大学院・教授)

コーディネーター：【守谷市】 長谷川啓一 (株式会社福山コンサルタント)

【佐渡市】 岩浅有記 (環境省沖縄奄美自然環境事務所)

【南阿蘇村】 皆川朋子 (熊本大学大学院・准教授)

【金武町】 鎌田磨人 (徳島大学大学院・教授)

日時：2020年11月7日 (土) 14:00~15:30 @オンライン (ZOOM)

どなたでも参加可能、無料 (登録が必要)

<https://gijapan.org/participants.html>